

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所 市川工場
------------	-------------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

[illegible]

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1
塗料、シンナーのフタ閉め、漏れ防止による溶剤管理の徹底
対策 2
製品品質安定化による塗料使用量の低減実施
対策 3
蓄熱式除去装置の安定運用

(その四)

工場又は事業場の名称

株式会社淀川製鋼所  
市川工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 4 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

揮発性有機化合物の排出量が増加した原因は、原材料などの高騰による製品価格
改訂のため受注量や製品種類の変化により、塗装鋼板の生産構成が変わった
ことによる塗料の焼付時に発生する溶剂量の変化により、揮発性有機化合物を
除去する蓄熱式除去装置の能力が一時的に低下したためと考えております。
蓄熱式除去装置は、塗装鋼板の塗料を焼付ける際に発生する揮発性有機化合物を
含む溶剤ガスを高温の蓄熱体に接触させ、蓄熱体を燃やすのと合わせ溶剤ガスを
焼失させますが、塗料の付着量が少ない塗装鋼板は発生する溶剤ガス量が少なく、
蓄熱体が燃え難くなり、揮発性有機化合物が残存した可能性があり、
塗料の付着量の少ない鋼板製品の増加の影響と考えております。
現在、生産構成の影響を確認しております。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称

ENEOS(株)  
市川油槽所

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
4 1	5 1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard writing template.

(その四)

工場又は事業場の名称	ENEOS(株) 市川油槽所
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

対策は以下の通り
1. 炭化水素回収装置の通年運転
2. 貯蔵タンクは浮き屋根式を使用
平成24年7月、近隣の船橋油槽所の廃止に伴い、平成25年以降排出量が増加している。
令和7年度は今年度より減少の見込み。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社クラウンパッケージ 東京工場輪転印刷課
------------	----------------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features ten horizontal rows, each defined by two parallel dashed lines. Vertical solid lines are positioned at regular intervals along the top and bottom edges of the page, creating margins on both sides. The entire page is enclosed within a thin black rectangular border. There is no handwriting or other markings on the paper.

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その四)

工場又は事業場の名称	伊藤喜オールスチール（株） 本社、工場
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社ユーワ 本社工場
------------	-----------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	1	3	2						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard writing template.

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社ユーワ 本社工場
------------	-----------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

[illegible]

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

工場又は事業場の名称 株式会社大成美術プリンティング 松戸工場

施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2	2	9	1	9	2				

✓

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled sheet of paper.

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社大成美術プリンティング 松戸工場
------------	----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
○A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

株式会社 トーカン

画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の

当社主力機種<sup>①</sup>の製造工程には、トルエンが使用されている。



(その四)

工場又は事業場の名称

株式会社 トーカン

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。







(その三)

工場又は事業場の名称	エイブリック株式会社 高塚事業所
------------	---------------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2	2	3	4	9	1				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid black vertical line on the left side, creating a margin. The paper appears to be from a notebook or a standard writing template.

(その四)

工場又は事業場の名称	エイブリック株式会社 高塚事業所
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

1) 手直し等に要する薬品使用量の削減のための継続的な削減活動に取り組む。
2) 老朽設備を計画的に更新する。
3) 揮発性有機化合物等の化学物質使用状況の適切な把握と管理を実施する。
4) 排気中の揮発性有機化合物濃度の適切な把握を行う。
5) 廃棄物に含まれる揮発性有機化合物の適切な把握を実施する。
6) 回収廃液に含まれる揮発性有機化合物の適切な把握を行う。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	サカタインクス(株) 東京工場
------------	-----------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2   1	2   3	3   1	5   1						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	サカタインクス(株) 東京工場
------------	-----------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三) ✓

工場又は事業場の名称	(株)城北鋳力印刷工業所 (株)城北鋳力印刷工業所
------------	------------------------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
1 : 1	2 : 1	2 : 2	5 : 5	9 : 1					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	㈱城北鋳力印刷工業所 ㈱城北鋳力印刷工業所
------------	--------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

工場又は事業場の名称	スリーエイ株式会社 木間ヶ瀬工場
------------	---------------------

## （２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 1	2 2	5 6	1 2						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

(その四)

工場又は事業場の名称	スリーエイ株式会社 木間ヶ瀬工場
------------	---------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

昨年度（2024年度）は稼働実績が12か月でした。

自主取り組みについて、途切れなく実施しました。

2025年4月に、排ガス処理装置の蓄熱体入替実施しました。（処理能力回復見込み）

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。



工場又は事業場の名称	株式会社トーショー 株式会社トーショー
------------	------------------------

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1		对策 2		对策 3		对策 4		对策 5		对策 6		对策 7		对策 8		对策 9		对策 10	
1	1	2	1	2	2	9	1	9	3										

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社トーショー 株式会社トーショー
------------	------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成 2 1 年度以前	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

5 計画年度の削減率の実績値は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{(\text{基準年度の排出等の量} - \text{計画年度の排出等の量}) / \text{基準年度の排出等の量}\} \times 100$$

サンコーテクノ株式会社  
流山事業所

[illegible]

(その四)

工場又は事業場の名称	サンコーテクノ株式会社 流山事業所
------------	----------------------

### (3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	2009年度以前	2010年度	2011年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。 ✓
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

## イ 課題と対策

7. **ANSWERS:**

1. **100%**

2. **100%**

3. **100%**

4. **100%**

5. **100%**

6. **100%**

7. **100%**

8. **100%**

9. **100%**

10. **100%**

11. **100%**

12. **100%**

13. **100%**

14. **100%**

15. **100%**

16. **100%**

17. **100%**

18. **100%**

19. **100%**

20. **100%**

21. **100%**

22. **100%**

23. **100%**

24. **100%**

25. **100%**

26. **100%**

27. **100%**

28. **100%**

29. **100%**

30. **100%**

31. **100%**

32. **100%**

33. **100%**

34. **100%**

35. **100%**

36. **100%**

37. **100%**

38. **100%**

39. **100%**

40. **100%**

41. **100%**

42. **100%**

43. **100%**

44. **100%**

45. **100%**

46. **100%**

47. **100%**

48. **100%**

49. **100%**

50. **100%**

51. **100%**

52. **100%**

53. **100%**

54. **100%**

55. **100%**

56. **100%**

57. **100%**

58. **100%**

59. **100%**

60. **100%**

61. **100%**

62. **100%**

63. **100%**

64. **100%**

65. **100%**

66. **100%**

67. **100%**

68. **100%**

69. **100%**

70. **100%**

71. **100%**

72. **100%**

73. **100%**

74. **100%**

75. **100%**

76. **100%**

77. **100%**

78. **100%**

79. **100%**

80. **100%**

81. **100%**

82. **100%**

83. **100%**

84. **100%**

85. **100%**

86. **100%**

87. **100%**

88. **100%**

89. **100%**

90. **100%**

91. **100%**

92. **100%**

93. **100%**

94. **100%**

95. **100%**

96. **100%**

97. **100%**

98. **100%**

99. **100%**

100. **100%**

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 レゾナック 五井事業所（野田）
------------	-------------------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

[illegible]

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard writing template.

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 レゾナック 五井事業所（野田）
------------	-------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

設備老朽化に伴う故障防止、計画的なメンテナンス、修繕の実施。

生産量の増減に対応した、効率的な生産計画の立案、実行。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社メイワパックス 野田工場
------------	---------------------

## （２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
5	6	5	5						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

[illegible]





4

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2	1	3	1	5	3				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

(その四)

工場又は事  
業場の名称

穂高 株式会社  
松戸工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概4順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

- ① 蒸留したパークロロエチレンの回収率を上げるためのコンデンサの洗浄を行う
- ② 石油用タンブラー乾燥機の回収機付き割合の増加を検討する。
- ③ パークロロエチレン洗浄機からの廃液用バケツ（一時受け）を密閉することで揮発を防止する
- ④ 石油の使用量が増えている為回収率を高める又は良好な状態を維持する為  
フィルターや水分離機などの清掃をこまめに行う

今年度行った対策

- ① パークロロエチレンの回収率を上げるため、スラッジの掻き出し以外に  
グラインダーによる蒸留器内の研磨を行った
- ② 石油の使用量が増えている為、なるべく回収率の高いパークロロエチレン洗浄機での  
洗浄を増やしてく。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社レゾナック 松戸事業所
------------	--------------------

## (2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
2 : 3	9 : 1	9 : 9							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

2 3 : 洗淨施設へ製品を投入前に油切りを徹底し溶剤使用量を低減

9 1 : 製品の不良低減による処理量の低減

9 9 : 製品の生産工程見直しによる洗淨工程廃止

(その四)

工場又は事業場の名称	株式会社 レゾナック 松戸事業所
------------	---------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

【課題】	不良発生に伴う洗浄対象製品数増加および顧客との取り決めによる洗浄対象製品数の増加
【対策】	製品不良低減による洗浄対象数量の低減と、顧客との折衝等による製品の洗浄工程の低減継続
	洗浄対象製品の油切り徹底による、洗浄液の削減

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 恵比寿加工 野田はやま工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 1	5 6	2 1	3 2	9 1	5 4				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

対策1.	非揮発性有機化合物(水溶性)の使用量の増加を図る。
対策2.	排ガスを蓄熱式脱臭装置に送り込み、燃焼させ、VOCの除去を図る。 平成19年3月の工場立ち上げ時から実施。実測値98.8%除去。
対策3.	有機溶剤の入った容器の蓋閉めを徹底し、揮発防止を図る。
対策4.	工場内の冷却装置の増設により揮発性の減少を図る。
対策5.	品質管理を徹底し、不良率の減少を図り、有機溶剤の使用量を削減する。
対策6.	排ガスを直火式脱臭装置に送り込み、燃焼させ、VOCの除去を図る。 平成25年4月の新設備の立ち上げ時から実施。実測値99.9%除去。

(その四)

工場又は事業場の名称 株式会社 恵比寿加工  
野田はやま工場

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

課題	平成19年と平成25年に設置した2台の設備で生産している。 平成19年に設置した設備の生産量は令和元年度頃から令和3年度までは、毎年減少していたが、令和4年度は、平成30年度以来増加した。 令和5年度の生産量は、令和4年度より10%程度減少した。 平成25年に設置した設備は平成28年度頃から令和2年度頃までは、ほぼ同量の生産量であったが令和3年度～令和4年度は多少増加した。増加した製品は平成30年度から頃から生産している水溶性の粘着剤を使用する製品である。 令和6年度の生産数量は、溶剤系粘着剤使用、及び水溶性粘着剤使用の生産量は共に令和5年度よりは、多少減少すると予想される。
対策	(1) 水溶性粘着剤を使用する製品の生産量の増量を図る。 (2) 蓄熱式脱臭装置、直火式脱臭装置にて、揮発性有機化合物を処理し、排出量の削減を徹底する。 (3) 品質管理を徹底し不良率の削減を図り有機溶剤の使用量を削減する。 (4) 作業中、各作業に使用する有機溶剤は可能な限り、蓋、シート等で覆い揮発を防止する。 (5) 夏期の工場内の気温を適度に保ち溶剤の揮発を削減する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

工場又は事業場の名称	甘糟化学産業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(1)の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせで実施した場合は、全ての対策について記載すること。

对策 1	对策 2	对策 3	对策 4	对策 5	对策 6	对策 7	对策 8	对策 9	对策 10
1   1	2   1	9   9							

99 : 取扱量が減少したため

99 : 取扱量が減少したため

(その四) ✓

工場又は事業場の名称	甘糟化学産業株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計 画 年 度 の 属 す る 年 度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策


備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。